

「十三」

へこむときもあれば、悩むときもあるよね

校長 光安 淳子

”生きてると、誰しも壁にぶつかる。順風満帆のまま生涯を終える人は多くありません。でも、人はみな逆境に苦しむからこそ、ようやく見えてきた光が、前にも増して明るく感じられるのでしょう。

壁でも逆風でも、諦めなければ、いつか、壁の向こうに出られたり、風が止んで、追い風になったりするはずですよ……。コロナの壁がどんなに厚くても、必ず僕らは壁を越えていきます。”

『それでも幸せになれる「価値大転換時代」の乗りこえ方』より

長野県の諏訪中央病院を拠点に、「日本一優しい病院」を目指し、地域医療に携わってこられた医師で作家の鎌田實先生の本にありました。「悩むだけ悩め」「時には力め」「へこんでもいい」、「へこむことは裏側から見れば出っ張ること」だと。

コロナ禍の中であって、今年は、これまでの当たり前が、当たり前でなかったことに気付かされました。本校の行事も中止をやむなくされたものもありました。私自身、「これから、どうなっていくんだろう」と不安ばかりが募りました。実際、修学旅行や部活動の大会が中止になって、悔しく残念な思いをした人も多かったと思います。しかし、生徒の皆さんは、その辛い思いを乗り越えて、運動会や学校祭にいきいきと取り組み、勉強やこれからの未来に向けて、今、力強く進んでいます。

そう言えば、鎌田先生は昔、『あきらめない』『なげださない』という本も執筆しておられました。「へこむときもある」「悩むときもある」でも、あきらめず、投げ出さず、これからの時代を生き抜く力を身に付けてほしいと思います。

◆◆◆ 2学期のアクションプランの取組について ◆◆◆

アクションプラン1 学び合い、共に高める学習活動

アクションプラン1のキーワードは、「学び合い、共に高める学習活動」です。新型コロナウイルス感染症予防対策に配慮しながら「学び合い」の機会を確保し、「友に高め合う学習活動」を実践しました。生徒の学習の振り返りや学校評価のコメントからも、「〇〇が分かるようになった」「〇〇ができてうれしかった」という声が多く見られました。今後も、より主体的に学ぶ意識が高められる授業づくりに取り組んでいきます。

基礎・基本の定着を図るため、各教科で小テスト等に取り組んでいます。11月は、「〇〇コンテスト集中期間」として、漢字、計算、基礎用語の確認等の振り返りをしました。生徒は、小テストで積み重ねた成果を生かして復習し、各教科で満点者や成績優秀者が多数見られました。引き続き、スモール・ステップによる積み重ねを大切に、学びを実感できるよう取り組んでいきます。



1年英語 ペア学習



2年数学 グループ学習

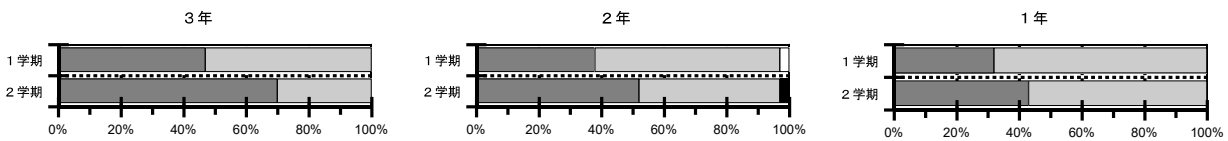


3年理科 電子黒板を使った説明

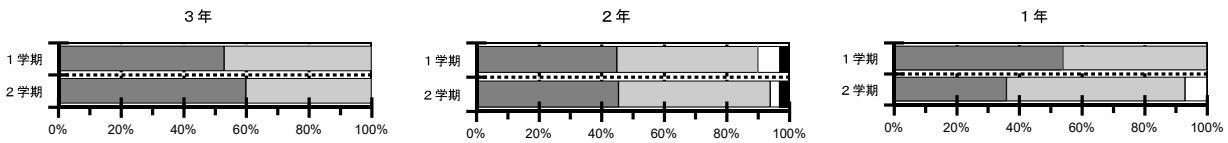
【学校評価アンケート（生徒）の結果】

(■:A よくあてはまる □:B だいたいあてはまる □:Cあまりあてはまらない ■:Dまったくあてはまらない)

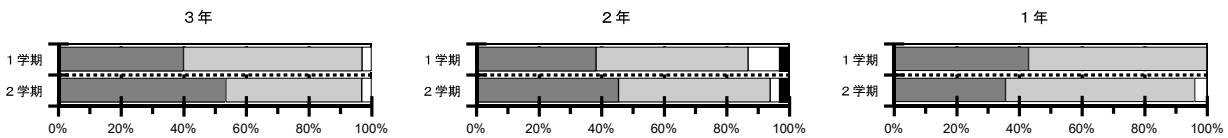
1 授業では、学習の目標を理解して、学習活動に取り組むことができた。



2 授業では、課題に対して自分で考え、進んで取り組むことができた。



3 授業で学習したことを振り返り、理解することができた。



アクションプラン2 仲間を認め合い、支え合う態度の育成

アクションプラン2のキーワードは「仲間を認め合い、支え合う態度の育成」です。生徒同士が関わり合いの中から、共に高め合う集団づくりを心がけています。新型コロナウイルス感染症予防対策で例年よりも規模を縮小した運動会、学校祭でしたが、今できることを生徒たちが考え、工夫を凝らしながら取り組み、達成感を味わうことができました。11月より後期生徒会へとバトンタッチし、2年生が中心となって、美化委員会の花壇整備活動、生活規律委員会の挨拶運動をはじめ、各委員会が積極的に活動を展開しています。

12月4日の入学説明会では、1年生実行委員会が学校生活について新入生と保護者の前で堂々と発表し、上級生となる自覚が伺えました。また、生徒会執行部は生徒会活動や学校行事について紹介し、4月から加わる仲間と共に楽しい学校を作り上げようという意気込みが伝わり、それぞれに成長が感じられました。



美化委員会花壇整備



生活規律委員会挨拶運動

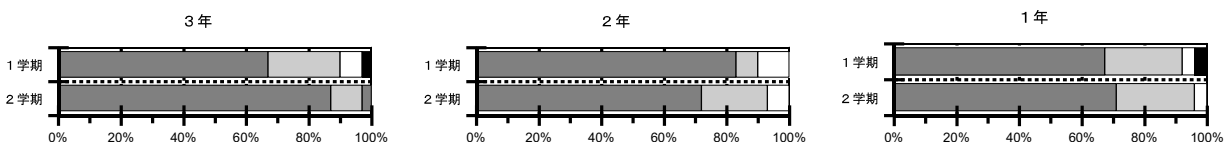


入学説明会で学校紹介する1年生

【学校評価アンケート（生徒）の結果】

(■:A よくあてはまる □:B だいたいあてはまる □:Cあまりあてはまらない ■:Dまったくあてはまらない)

4 みんなで協力して物事をやり遂げ、うれしいと感じることができた。



5 自分にはよいところがあると思うことができた。

